

議 会 研 修 報 告 書

令和5年5月1日

長浜市議会議長 松本 長 治 様

長浜市議会議員 松本 長 治

私が出席した次の議会研修の結果について報告します。

記

1. 研修名 湖北長浜の地域医療と病院再編を考える
2. 研修日時 令和5年4月29日（土）
3. 研修場所 長浜市 臨湖
4. 研修テーマ どうする長浜、これからの医療を考える
5. 講師 城西大学経営学部教授 伊関友伸氏

4. 調査内容感想等

・研修の目的

病院経営の専門家から見た、長浜における地域医療提供体制の考え方について、
課地域での事象や経験を踏まえたご指導をいただき、今後注目すべき点や議論を
行う上での注意点などについて研修する。

・研修の内容

伊関先生とお会いし、まず驚かされたことは、とにかく現場第一主義だということ
ことです。今回研修の講師をお願いした段階から、長浜と長浜を取り巻く周辺の
状況、医療体制などについて事細かに調査をされ、当日も敦賀の市民病院を研修
会までに直接見て確認しておきたいとのことから、現地まで同行させていただきました
ました。帰りの車中でも、実際の医療圏域となる可能性がある地域の人口動向な

どを何度も確認しつつ、最も適した再編のための手順やいくつかのイメージを描いておられました。

研修会では、長浜周辺では新たな医療人材の確保が難しいことから、いかに今の人材を大切にし、安定して確保し続けるかが重要であり、その貴重な人材への今後も配慮は必要であるとの指摘。また、医師の働き方改革は待ったなしであり、医師や看護師などが集まりたくなる魅力的な病院を目指すべきで、そのためには急性期の集約は必要であるとのことでした。また大きな課題として、指定管理者制度を採用した場合、公立病院職員の中には、相当数市役所に残ることを求められることが想定されることや、長浜市を去る医療職員がおられるとのことでした。逆に独立行政法人の場合は、職員定数の制限がなくなることで、職員雇用の弾力化が図れることは大きいとのことでした。

最後に、市民自身が当事者意識を持って議論することの大切さと、全員が折り合える結論を導き出してください。滋賀には三方よしという言葉がありますが、まさに、この医療再編ではその考え方を大切にしてくださいとまとめられました。

・研修の結果を本市にどのように反映させるか

医療再編の議論は、今後様々な場面で激しくなっていくと思います。しかしながら、常に冷静に今とこれから、皆にとって納得と共感が大きくなる進め方を意識していきたいと思っています。